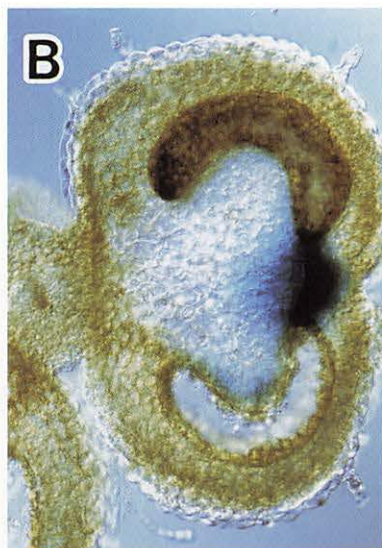


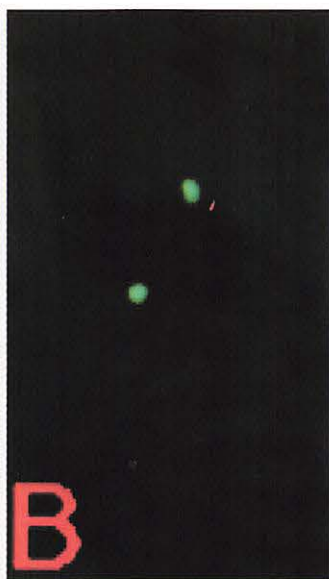
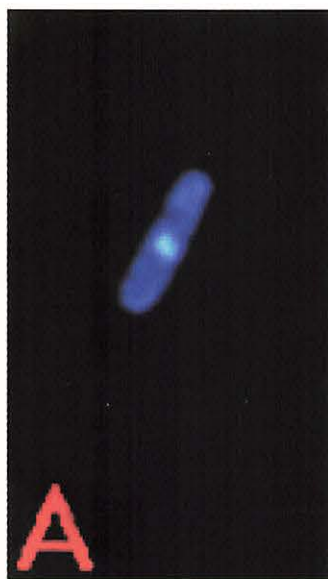
研究成果

研究成果

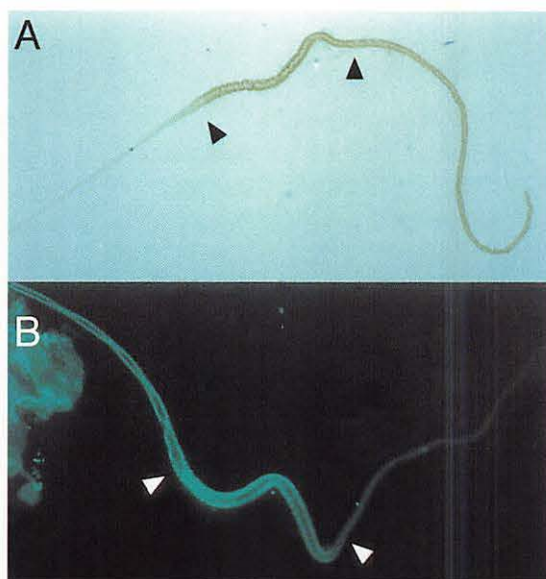
□ 絵 1



□ 絵 2



□ 絵 3



□ 絵 4

形質転換タバコ

(a) プラスミドのみ

(b) カボチャの酵素の
cDNA

(c) シロイヌナズナの
酵素の cDNA



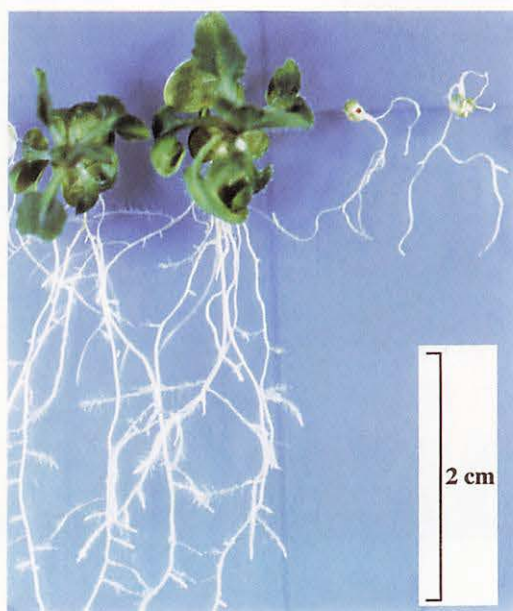
低温 (1 °C) 10 日の処理



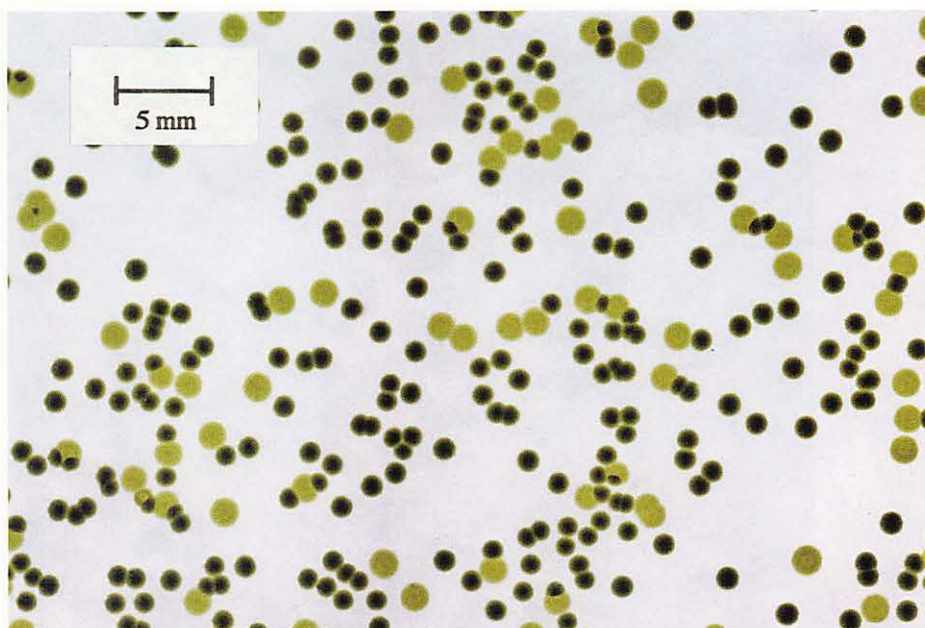
□ 絵 5

形質転換株

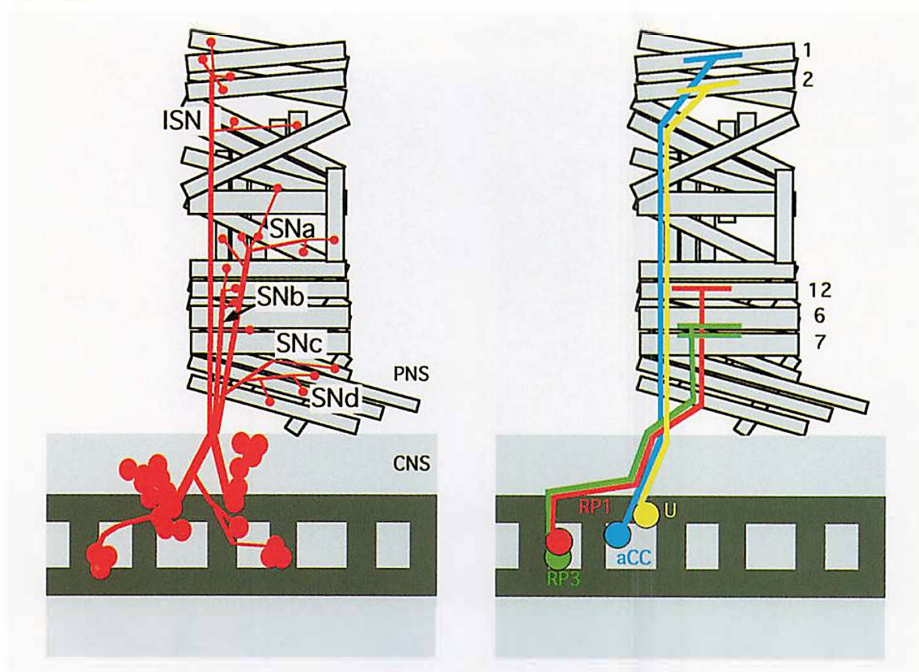
野生株



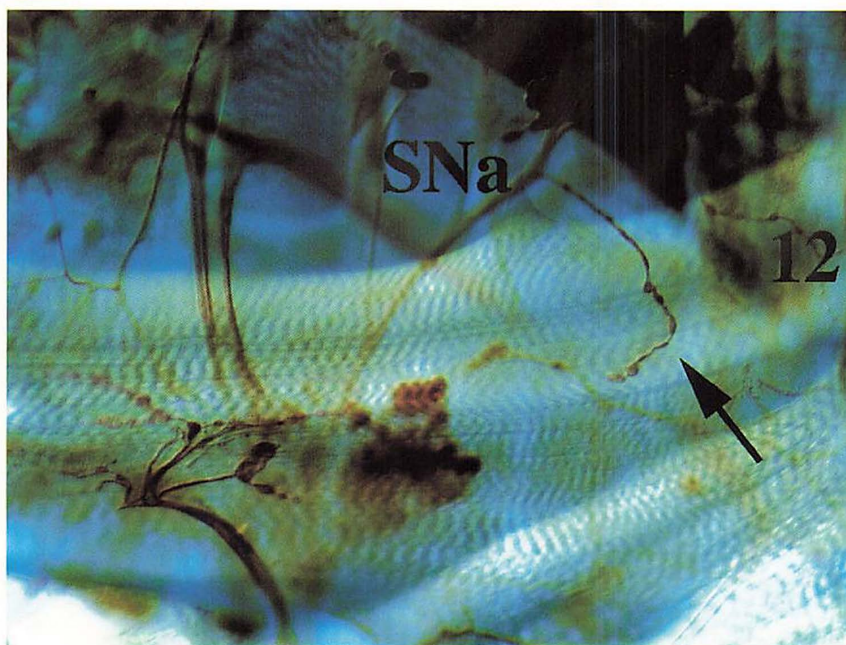
□ 絵 6



□ 絵 7



□ 絵 8



□ 絵 9

(A)



(B)



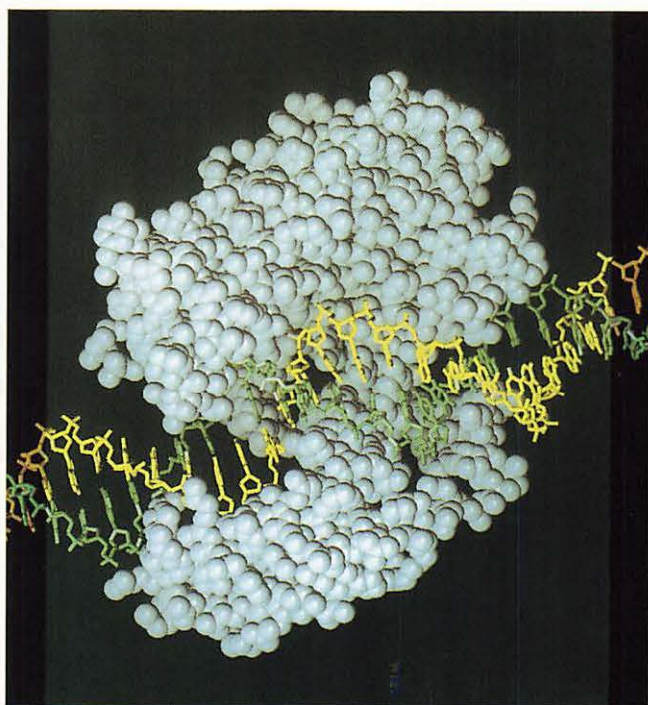
(C)



(D)

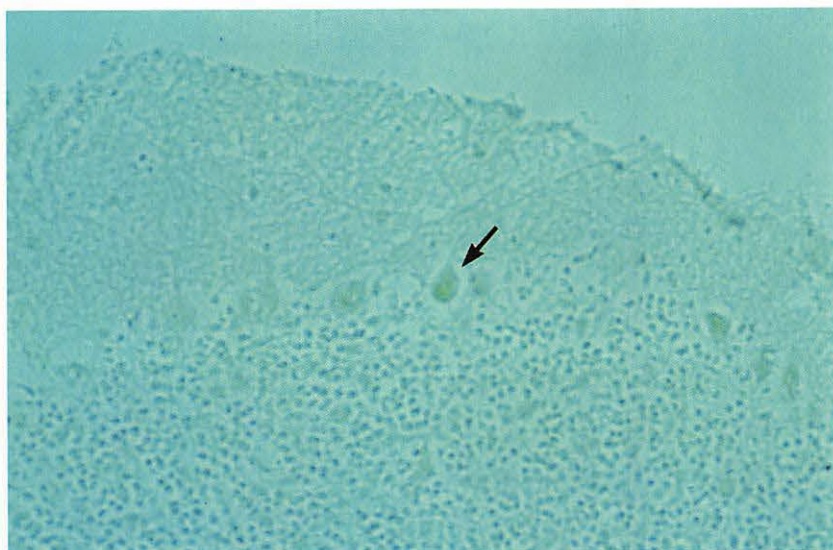


□ 絵 10



DNAと複合体を形成した大腸菌複製終結タンパク質の構造

□ 絵 11



□ 絵 12

1. 生物の生態の解明研究所でどんなことを

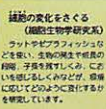
東岡崎駅の南側の小高い丘の上に、兵庫県立片岡研究機構の建物が見えます。その中に、この基礎生物学研究所があります。1977年8月に建てられ、生物の生き生きした様子を見る研究をしています。例えば、イモリやカエルのように私たちの身近にいる生物を使い、細胞の分化や発生、発生、環境への適応などについて、遺伝子レベルで研究しています。



<ラット>



<ゼブラフィッシュ>



<イモリ>



<アマゴ>



<イモリ>

誕生のしくみをさぐる
(発生生物学研究系)

アマゴを使い、卵や精子がつくられ、成長を調べています。また、生物が環境の刺激を感知し、適応する能力について、イモリの卵を調べています。



<タネコ>



<ショウジョウバエ>

環境への適応をさぐる
(動物機能研究系)

タネコを使って、寒や暑への適応を調べたり、食料の不足への適応のしくみを調べたりしています。また、ショウジョウバエを使って、神経の伝達について詳しく調べています。

基礎生物学研究所で、どのような研究が行われているのか。
研究系と、その研究内容

この研究所には、日本人だけでなく外国の研究者もたくさんいます。大学を卒業した大学院生もいます。大学での研究をさらにすすめるために、毎日研究に励んでいます。大学でも、一人ひとりが、どうしてだろうと疑問を持ったことから、今の研究が始まっているのです。みなさんも、「どうしてだろう」という目で自然をまわり、自然と向き合ってください。そして、疑問に思ったことを積極的に調べてみるという気持ちがあれば、この研究所で研究をすることもできるはずです。



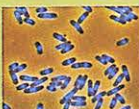
この研究所の代表者 小岡先生と 小岡先生

遺伝子の働きをさぐる
(動物機能研究系)

遺伝子がどのように働いているのか、その働きを明らかにするために、遺伝子の働きを調べる研究を行っています。また、遺伝子の働きを調べる研究を行っています。



<アサガオ>



<アサガオ>

研究を支える施設
(情報科学系研究施設)

生物の遺伝子やタンパク質の構造を調べるために、最新の機器が揃っています。



<大型電子顕微鏡研究室>



<顕微鏡制御研究室>



<細胞培養研究室>